

井上光太郎研究室 入ゼミ希望者への紹介 (学部・修士・博士)



東京工業大学
工学院経営工学系
井上 光太郎研究室

現場とトップマネジメントをつなぐ 研究室

- 経営工学系の中の経営管理分野の研究室として、ファイナンスやコーポレートガバナンスの研究拠点を目指しています
 - 基盤研究：コーポレートガバナンスと企業行動・企業パフォーマンスの国際比較研究
 - 研究手法として理系のアプローチが色々使えますが、研究領域はファイナンス・経営管理・経済領域であり、その文理両方を習得する意気込みと能力が必要

教授紹介



- 井上光太郎

- 学位

- 東京大学卒
- マサチューセッツ工科大学経営大学院修了(MBA)
- 筑波大学大学院ビジネス科学研究科修了(博士・経営学)

- 職歴

- 1989年～1998年 日本債券信用銀行
- 1999年～2003年 KPMGのM&A部門ディレクター
 - そごう再生、産業再生機構による三井鉱山再生、TDKによる米国HDD部品企業買収、自動車ワイヤーハーネス事業のグローバル再編などを手掛ける
- 2003年～2007年 名古屋市立大学経済学研究科・助教授
- 2007年～2012年 慶應義塾大学ビジネススクール・准教授
- 2012年～ 現職
- 現在、アジアファイナンス学会理事、日本ファイナンス学会理事、日本経営財務研究学会評議委員、行動ファイナンス学会監事
- 原子力損害賠償支援機構外部委員、公認会計士試験委員なども兼任
- 経営工学専攻長(～2016年3月)

- 研究分野

- Corporate Finance, Corporate Governance, Mergers and Acquisitions, Financial Markets

助教紹介

- 池田直史

- 学位

- 2006年：慶應義塾大学商学部卒業
- 2008年：慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了
- 2013年：慶應義塾大学大学院商学研究科後期博士課程修了、博士(商学)

- 専門分野

- コーポレートファイナンス

- 研究テーマ

- IPOの理論・実証分析
 - アンダープライシング現象
 - 公開後の長期アンダーパフォーマンス現象
 - ホットイシューマーケット現象
- 異質的期待と市場流動性

研究室の研究テーマ

- コーポレートファイナンス（経営財務）
 - － 企業の財務意思決定・投資意思決定の分析
 - － M&A、IPO、設備投資、R&Dなど
- コーポレートガバナンス（企業統治）
 - － 効率的な経営メカニズム解明、最適統治システムの分析
 - － 取締役会、経営者報酬など
- 上記領域と行動ファイナンス（心理学）の領域
 - － 経営者行動、投資家行動、裁定の限界など

現在のプロジェクト

- コーポレートファイナンス、コーポレートガバナンスの国際比較研究
 - 国際比較研究の中で、各国の強み・弱みを検証
 - 具体的なテーマ
 - M&A(企業の合併と買収)
 - 資本調達(株式・借入・資本政策)
 - リストラクチャリング
 - 成長投資・R&D
 - 経営形態(トップマネジメント、取締役会)
- 法、制度とファイナンス
 - 法・制度が金融市場、企業の財務・投資行動に与える影響の分析
- 経営者のセンチメントと企業投資
 - 研究室で四半期ごとのGlobal CFO(財務責任者) Surveyに参加
 - CFOサーベイページを参照

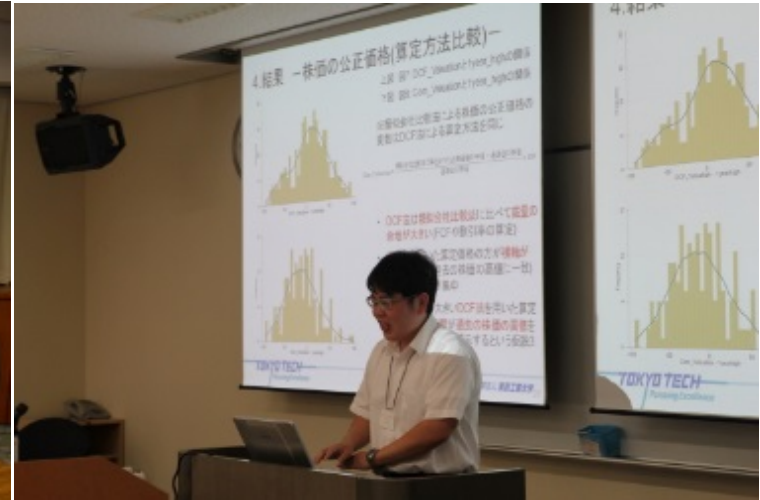
様々な連携

- 外部の研究者や省庁・企業と連携した研究プロジェクトが進行しており、学生の研究参加が求められます
 - 企業統治構造やM&Aの国際比較研究
 - 慶應大学・早稲田大学・神戸大学の研究者と連携
 - RIETI(経済産業研究所)プロジェクトへの参加
 - 経営者のスタンスと投資行動の行動ファイナンス研究
 - 米Duke大学、名古屋大学、神戸大学との連携
 - 法とファイナンスの実証研究(株式公開買い付け研究)
 - 森濱田松本法律事務所、東京大学、東北大学等の法学者と連携
 - M&A研究
 - 三菱UFJコンサルティングからの受託研究
 - プライベート・エクイティ・ファンドに関するレコフ等との共同研究

ゼミ活動(修士)

- 月曜日
 - 輪読ゼミ(3時間) 英語・日本語
 - 前期:ファイナンス基本ゼミ(学生自主ゼミ)
 - 後期:計量分析基本ゼミ(池田助教)
- 木曜
 - 研究構想討論・進捗発表ゼミ(4時間)
- 夏合宿
 - 9月(千葉)

ゼミ活動



ゼミ活動



研究室ゴルフコンペ



ゼミ合宿(研究編)



ゼミ忘年会



ゼミ合宿(宴会編)

理系学生の強みを活かす！

- 経済学・経営学領域の学問ですが、
 - 株価、財務数値、質的情報などを統合的に扱うため、高い統計能力必要
 - 理論モデルの理解が必要
- このため、欧米の多くのファイナンス研究者は理数系の出身
 - 日本では、経済や株式市場に関心のある優秀な理系学生がこれまで少なかったため、理系出身のファイナンス学者は少数
 - 経済に興味を持つ理数系学生にとり大きな潜在性がある分野
- ただし、シビアでリアルな経営の世界を扱うため、分析とその結果には責任が伴う
- 数理モデルや統計モデルを試すためだけの分析はアカデミックで純粹だが、社会的な文脈を理解せずに取り組めば有害になる可能性
- 自分が理想として、導きたい社会システムを明確に意識する改革者の精神と、客観的データでそれが本当に効率的で望ましい社会システムと言えるかを検証する科学者の姿勢が必要

よくある質問：経済学系希望者は 入れるか？

- 修士

- 入試は経済、経営管理、数理、管理技術の各分野から2題出題（計8問）で、3問を選択解答なので、経済学とファイナンス・会計科目などで対応可能
- 入学後は計量的知識・能力は強く求められます
- 慶應大学経済学部出身の在籍者あり

- 博士

- 基本的に修士論文、英語力、研究計画による審査です
- 社会人向け入試もあり、社会人に広く門戸を開いています
- 授業負担はほぼないので、最小の通学で博士号取得は可能
- 海外MBAなどで、修士論文がない希望者は、プロジェクトレポートなど代替物が必要ですが、個別検討になります
- 学部・修士の成績、修士論文、実務経験、英語力を重視

その他のよくある質問への答え

- データベースは、日経FQ、Thomson One、Datastream、Capital IQなどが使用可能
- 修士・博士受験目的の研究生は受け入れていません
 - 除く国費留学生
- 金融工学研究は、別の研究室を推薦しています

どういう学生が求められているか？

- 数理・統計に明るく、企業経済にコミットした研究を志す学生
- 分析結果を通して、政策や制度に関する議論インパクトを与え、日本経済(留学生の場合は出身国経済)を明るくしたい学生
- 英語力は不可欠！(院ゼミは英語が公用語)
- グループワークに積極的に参加できる学生
- 研究結果を活かして、高い志を持って、実務において日本企業の強化を推進するリーダーとなるべき資質を持つ学生

主なゼミ生の出身大学・学部

- 東京工業大学・工学部
- 東京工業大学・理学部
- 慶應義塾大学・経済学部（以下、あいうえお順）
- 上智大学・理工学部
- 中央大学・理工学部
- 筑波大学・社会工学系
- 東京理科大学・理工学部
- ミラノ工科大学・経営工学部
- 早稲田大学・理工学部

学部卒論題目

- 日本企業の評価はなぜ低いのか？
- 企業の成長機会と多角化に関する研究
- 資本調達手段の決定要因
- 低 β アノマリーは存在するか？
- 設備投資と株主価値
- 労働者の権利保護がM&Aの価値創造に与える影響
- 日本企業のM&A後における資本構成の調整行動の検証
- An analysis of the response of Japanese firms to the new released governance code

修正論文題目

- 欧米の電力事業者のM&Aの成果に関する実証研究
- M&Aの成果に対する経営幹部の認識と株価パフォーマンス
- 外部経営者の選任要因に関する研究
- 雇用調整と企業パフォーマンスの実証研究
- 日本企業の現金保有と企業買収行動の実証研究
- 財務面から見た特定非営利活動法人の成長要因に関する実証分析
- 経営幹部の個人的スタンスと企業の投資行動
- コーポレート・ガバナンスが企業の意思決定に与える影響 : Quiet life 仮説の検証
- The Effects of Corporate Governance Code's Introduction on Board Composition and Firm Valuation around the World

就職先(2013・14・15年度)

- みずほFG(M&Aスペシャリストコース)
- みずほFG(グローバルマーケットコース)
- 東京三菱UFJ信託銀行(ファンドマネジメントコース)
- 三井住友FG
- 大和証券(グローバルIB、グローバルマーケット)
- 日本生命
- 丸紅
- シーメンス(財務)
- ソニー(財務)
- IBMコンサルティング(戦略コンサルティング)

新たな研究メンバーをお待ちしています！ 井上研究室一同

